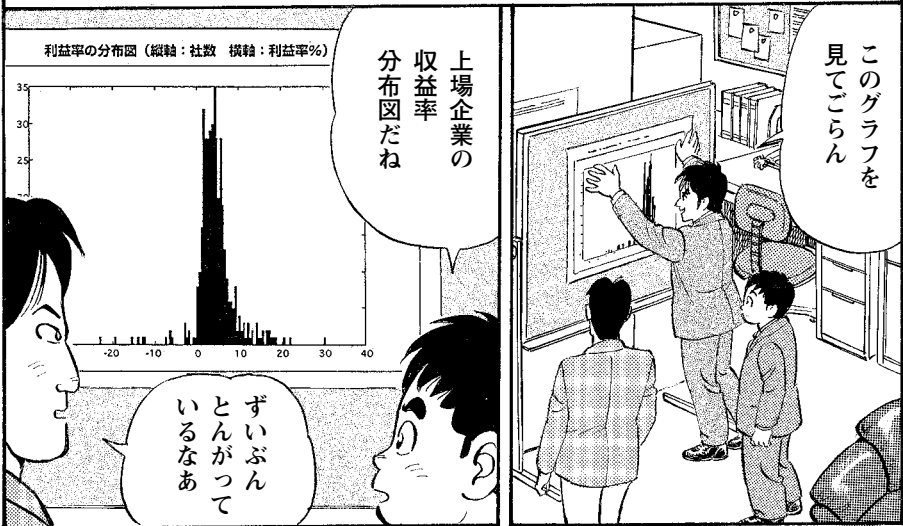
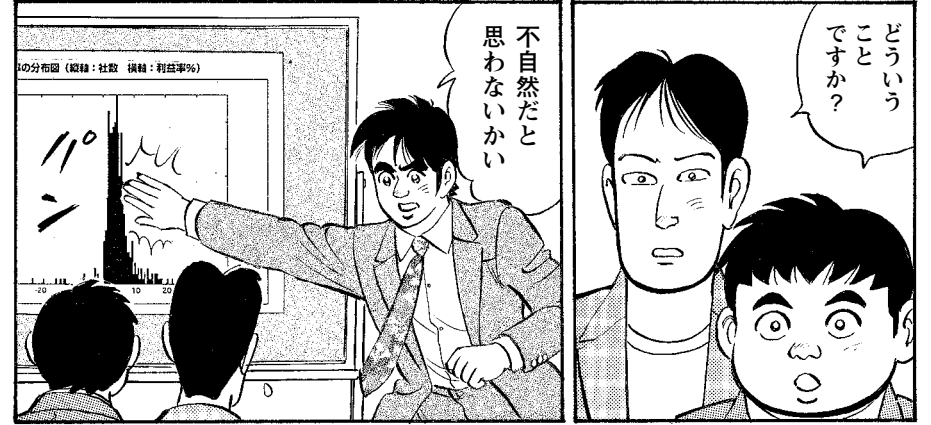
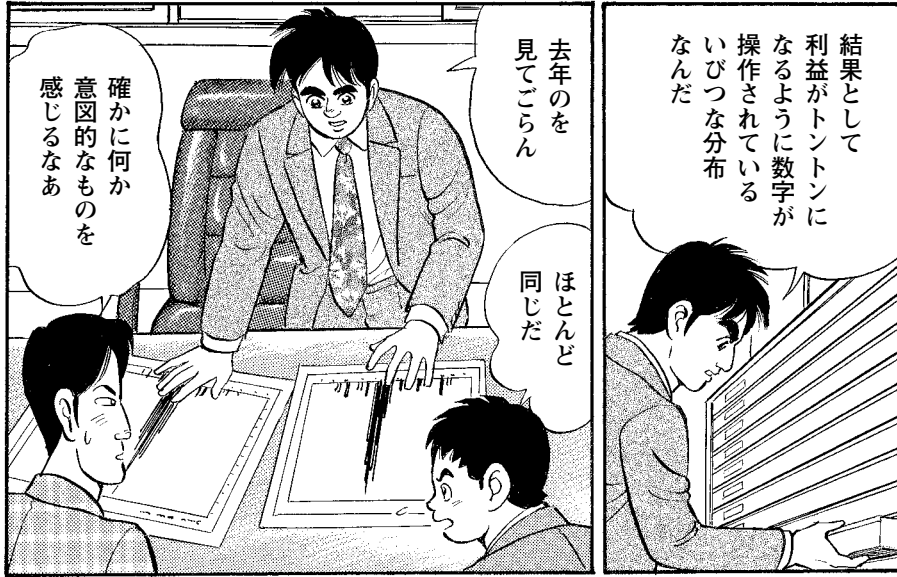


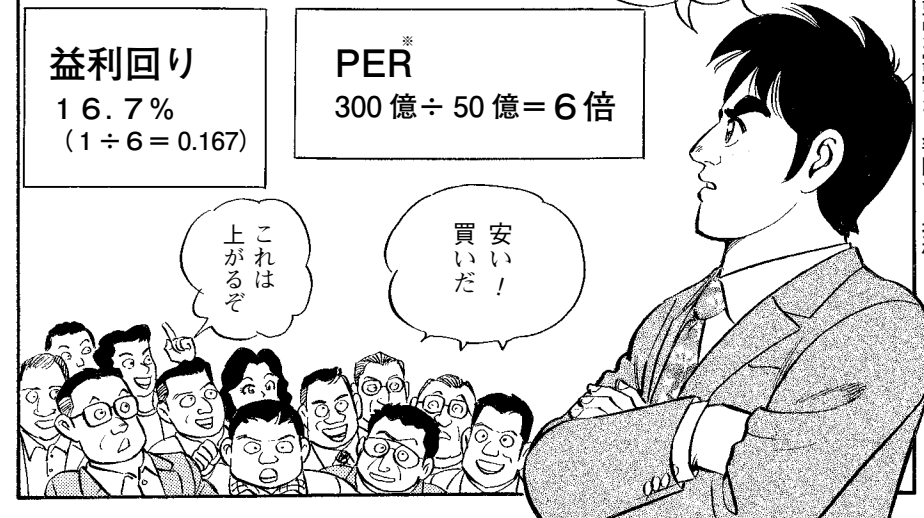
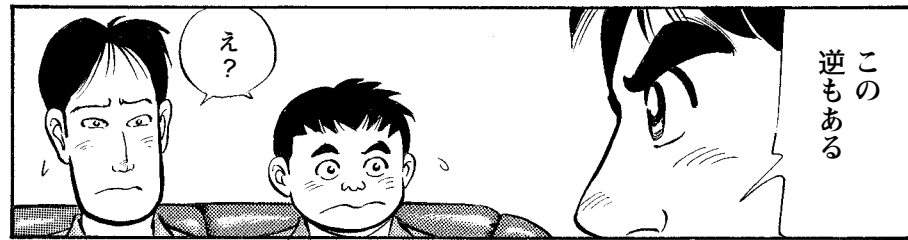
第1章

数字は操作されている

(1) 不自然な分布図







※株価収益率。PERは株価÷一株当たり利益。株価が一株当たり利益の何倍かを示す。利益に対して株価が割高か割安かを判断する指標。

PER

$3000\text{億円} \div 50\text{億円}$
= 60倍

利益回り

1.67%
($1 \div 60 = 0.0167$)

PER

$3000\text{億円} \div 200\text{億円}$
= 15倍

利益回り

6.7%
($1 \div 15 = 0.067$)

この企業の時価総額は3000億円だったから投資家には「高すぎる」と思われてしまった

利益が少ないのに

確かに世界を相手にするならば体力がある

少しでも利益を減らしキャッシュフローを確保したかったんだ

株の価格が高すぎるんだよな

高いよ

高いよ

でも
本当の利益は
200億円：
つまり
PERは15倍
だったんだ

グローバルな競争力が十分あるならばPER 15倍は安いかもしれないよ

えー
えー
えー
えー

えー
えー

用語解説

キャッシュフロー

企業の「自己資金収支」のこと。実際のお金の出入りを示す。企業の税引き後決算期利益から配当金と役員賞与を引き、減価償却を足したもの。自己資金が大きいほど、設備投資などのときに外部資金に依存する割合が小さくなるため、企業財務の健全性を計る目安となる。

確かに世界を相手にするならば体力がある

少しでも利益を減らしキャッシュフローを確保したかったんだ

実際にはどうということなんですか？

例えばある企業では200億円の儲けがあったけれどそのまま税金を取られるのはいやだった

だからあらゆる手を使得って利益を圧縮したんだ

結果として純利益は50億円になった

